



# 立神峡だより

## 可愛い園児の森の散歩

今年も立神峡に氷川町の可愛い子どもたちが森の散歩で訪れました。子育て支援センターの乳幼児とそのお母さん、常葉保育所の4・5歳児が訪れ、どんぐり拾いや落ち葉集めや河原の近くのキャンプサイトで楽しく過ごしました。

公園内は少しずつ秋の気配が漂い始め、園児たちは楽しそうに持ってきた袋にどんぐりを一生懸命に詰めていました。その後、火の広場周辺で昼食をとり帰っていきました。

毎年この季節に園児が周辺地域の所からも訪れており、情操教育の一環としてますますの利用を期待したいものです。



## 来年の夏までに待てないとカブトムシの幼虫飼育

今年の夏はたくさん子どもたちにカブトムシをプレゼントしました。さらに多くの子どもの感動と喜びが見たくて、広報ひかわ11月号に本格的なカブトムシの養生床の作成について記事にしたところ、近くに住むお父さんが自分で幼虫を育てたいと管理棟にお願いにいられました。養生床に案内すると幼虫をたくさん発見しました。来年の夏には立派にふ化したカブトムシを見せに来てくれることを願いながら、これからも子どもたちの自然に触れ合う場所を提供していきたいと思っています。



## JR九州ウォーキングで立神峡をアピール

東陽しょうが祭りと連動してJR九州ウォーキングが開催され、ここ立神峡もしょうが祭りに向かうコースになっており、今年は例年になく多くの方が訪れました。

火の国橋を渡り、遊歩道を下りながら断崖絶壁を見上げることができるコースに変更され、参加者はその迫力に感動されていました。最後に龍神橋を渡って火打石体験など体験して、参加者は火の国熊本の発祥地がここ氷川であることを初めて認識されました。

また、その際立神峡のパフレットと「氷川町まちあるきマップ」も持ち帰ってもらっています。いかに訪れた人を手ぶらで帰すことがないように知恵を絞るおもてなしの心が今後とも求められます。



## 氷川町を九州空撮隊が撮影 RKKで11/23(土)夕方に放送されました

この撮影に立神峡も全面的に撮影に協力しました。空から見るドローン映像は最高ですね。氷川町が日本全国・世界に名を馳せる地域になることを常に夢見ながら、今後ともフェイスブックやあらゆるメディアを活用して発信して行こうと思います。

今年1年お疲れさまでした。皆さま、よいお年をお迎えください。

【お問い合わせ】 立神峡公園管理棟

☎ 0965-62-1543 FAX0965-62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページ

<http://tategami-camp.com>

# 町民文芸

## 短歌

白鷺の湖面に低く飛び来れば  
雑魚ら一斉に細波たつる  
北野津 宮本 末秋

火の国の氷川の原の細石も  
時雨に濡れてば珠と匂へり  
北野津 井田 道寛

秋晴れの良き日佳き時老集ふ  
米寿祝の盛り上げ役に  
西野津 古崎スエノ

台風の「関東」の孫の案ずるぬ  
告げる電話の安泰す  
西野津 古崎 栄子

移りゆく季節と共に変わりゆく  
桜から今コスモスの花咲く  
南鹿野 尾崎 京子

他人事と思ふか思わぬかの違い  
その人生の足跡を決む  
西上宮 村内 一誠

沖縄の戦い終る岩陰に  
震える少女の涙は光る  
吉本 高瀬 道昭

散り果つも地上を照らす木犀の  
花の如くに生きたし我も  
吉本 高橋 澄子

## 俳句

村祭り子供御輿しのワッショイと  
声苑内に響き青空  
上鹿島 前村 俊子

鶴鴿やサイドミラーに糞たらす  
北野津 宮本 末秋

北風や勝専坊を鳩が舞ふ  
北野津 井田 道寛

佗助のわびてる姿おちよも口  
西野津 古崎スエノ

御即位に祝の華咲く赤紅引く  
南鹿野 尾崎 京子

グラウンドに組体操や天高し  
町 香山菊童子

秋の川小舟流る落葉かな  
西野津 古崎 栄子

早朝の秋空仰ぎ深呼吸  
吉本 高橋 澄子

散歩道十月桜華やぎぬ  
西上宮 村内 一誠

軽やかに走る車に秋の風  
上鹿島 前村 俊子

## 詩

深まる秋見頃な紅葉  
季節は晩秋、初冬並(お寒い)  
東上宮 H, O

### 漱石と家族と「漱石山房の人々」

法道寺 本田 花風

大正五年十一月二十一日、漱石は「明暗」の第百八十八回を書いた。これが漱石の絶筆となった。

二十二日昼近くになって漱石が机にうつ伏せになつてゐるのを家の者が発見した。机の上には「189」と書いた「明暗」の原稿が置いてあつたが、二行も書いてなかつた。それから数日後の二十九日、内出血があり容態が険悪であることが判明したので、真壁(主治医)は医師、宮本叔、南大曹の三人合議の上で治療にあたることを決めた。

この日、少数の弟子たちに病状が伝えられた。小宮豊隆、森田草平、鈴木三重吉、安倍能成、阿部次郎、野上豊一郎、内田百閒、岩波茂雄、松根東洋雄、林原耕三らが駆けつけた。みんなは万事休すとかと覚悟を決めた。十二月九日、鏡子が真壁に子供たちを学校へやるかどうかを相談すると、土曜日だから構わないだろうと学校へやつた。しかしその後様態が急変した。正午ごろまでどうろうと真壁が言った。弟子たちは揃つて病室にたつて漱石を見舞つた。子供たちはみんな揃つた。

漱石と同じ病に悩む寺田虎彦が姿をみせた。中村は公が来て、高浜虚子が来た。虚子が声を掛けると「有難う」と答えた。早くみんなと言つて真壁の声に弟子たちが病室に入つた。息が止まる、はつとすると、  
一息がある。鏡子が筆を執つて末期の水で漱石の唇を潤した。子供たちも同じにした。

### 投稿について

- ・ 楷書で記入し、漢字には全て読みがなをふつて投稿してください。
- ・ 内容確認する場合がありますので電話番号を明記してください。
- ・ 毎月8日必着

※掲載は1人あたり短歌・俳句・詩のそれぞれ一句ずつとなります。

※遅れて投稿された場合掲載できない場合があります。あらかじめご了承ください。

### 投稿先

〒869-4814 水川町島地642番地  
企画財政課 企画係  
☎0965-525850

## 防災行政無線の戸別受信機の更新(無償貸与)はお済みですか

9月から全世帯を対象に町が委託した業者(NEC株)が、腕章と町の許可証を携帯して皆さまのご自宅に訪問し随時更新を行ってきましたが、まだ更新が済んでいないご家庭は更新をお願いします。

### 【戸別受信機の更新についてのお問い合わせ】

日本電気株式会社 現場事務所 ☎080-2706-9281  
受付時間 9時~18時(土日、祭日は除く)

